

四国歯学会雑誌

第 6 卷 第 1 号

(平成 5 年 6 月 25 日)

SHIKOKU DENTAL RESEARCH

VOLUME 6 (JUNE 1993) NUMBER 1

学位論文

- Interleukin-1 β の破骨細胞形成に及ぼす影響……………石川 啓詞………… 1
破骨細胞の形成と活性に及ぼす
Transforming growth factor- β 1の影響について……………上岡 寛………… 13
腫瘍壊死因子 (tumor necrosis factor- α) による
破骨細胞形成促進に関する研究……………新居 泰浩………… 25
ヒト唾液腺癌細胞とその派生細胞における
グリア線維酸性タンパクおよびニューロフィラメントポリペプチドの発現と
5-プロモデオキシウリジンの影響……………白神 直之………… 37
ハムスター頬嚢発癌における上皮増殖因子の役割……………原田 耕志………… 61
Streptococcus mutans serotype c-specific Determinant
in the Surface Protein Antigen I/II……………Eleanor J. FERNANDEZ………… 79
甲状腺ホルモンがラット胎児頭蓋冠由来骨原性細胞の分化に及ぼす影響……………大石 慶二………… 93
培養ラット胎児頭蓋冠由来骨原性細胞における
副甲状腺ホルモン受容体の発現と性状……………山内 規進………… 105
- 原 著
ラット咬筋の筋細線維及び筋節形成に
及ぼす colchicine の影響……………桂 茂, 稲住 修次………… 115

四国歯学会雑誌

第 6 卷 第 2 号

(平成 5 年 12 月 25 日)

SHIKOKU DENTAL RESEARCH

VOLUME 6 (DECEMBER 1993) NUMBER 2

総 説

充填材料の寿命推定へのアプローチ

——アマルガムについて——……………浅岡 憲三…………… 127

疑核における神経細胞の配列様式……………北村清一郎…………… 137

原 著

上顎全部床義歯の咬合平衡に関する研究

羽田 勝, 森本 真二, 松本 直之, 大石 旭, 今井守夫…………… 147

学術講演

変革：治療から予防的管理へ

——小児歯科学的観点から 802Q 運動を考える——……………有田 憲司…………… 157

会務報告…………… 163

会 則…………… 165

投稿規定および投稿の手引き…………… 168

四国歯学会会務報告

1993年7月17日(土)午後3時10分より歯学部大講義室で開催された。高田理事を偲んで黙祷し、河田照茂会長の挨拶に続き、佐藤理事を議長に選出して、以下の報告及び協議がなされた。

A. 報告

1. 会員数(1993年6月30日現在)

会員総数482名(内訳 正会員438, 学生会員42, 名誉会員2), 賛助会員8社

2. 役員の交替

桂 茂, 桑山則彦および高田 充理事が退任し, 浅岡憲三および北村清一郎が理事に就任した。
歯科理工学講座選出の評議員が浅岡憲三から今 政幸に交替した。

3. 1992年度事業報告

- 1) 6月27日に第11回総会および第15回例会を歯学部大講義室で開催した。
- 2) 8月2日, 補綴学第2講座: 坂東教授, 池田助手を講師とし, ブリッジと咬合という演題で夏期講演会(徳島県歯科医師会館)を開催した。
- 3) 四国歯学会雑誌第5巻第1号, 第2号を発刊した。

4. 1993年度事業計画および進行状況

- 1) 7月17日の第16回例会および第12回総会のほか, 小児歯科学講座有田助教授を講師として, 8月29日に夏期講演会を予定している。
- 2) 四国歯学会誌第6巻1号を6月25日に発刊し, 第6巻2号を12月24日に発刊する(原稿締切9月30日)。
- 3) 会員名簿1993年度版を発行する。

B. 協議

1. 1992年度決算

収入

	決算高	予算高	増 減
繰越金	9,764,674	9,764,674	
入 会 金	34,000	35,000	- 1,000
本年度会費	1,548,000	1,406,000	+ 142,000
過年度会費	32,000	80,000	- 48,000
次年度会費	4,000	0	+ 4,000
賛 助 会 費	200,000	225,000	- 25,000
論文掲載料	690,000	800,000	- 110,000
広告掲載料	425,000	500,000	- 75,000
雑 収 入	340,468	200,000	+ 140,468
収入合計	3,273,468	3,246,000	+ 27,468
合 計	13,038,142	13,010,674	+ 27,468

支出

	決算高	予算高	増減
学会開催費	50,000	100,000	- 50,000
会誌発刊費	2,193,676	2,400,000	- 206,324
通信連絡費	323,878	350,000	- 26,122
事務費	81,319	180,000	- 98,681
備品費	0	100,000	- 100,000
予備費	0	100,000	- 100,000
支出合計	2,648,873	3,230,000	- 581,127
繰越金	10,389,269	9,780,674	+ 608,595
計	13,038,142	13,010,674	+ 27,468

会計担当運営委員の説明及び高木監事の監査報告のあと、全会一致で承認された。

2. 1993年度予算

収入

	予算
繰越金	10,389,269
入会金	40,000
本年度会費	1,444,000
過年度会費	80,000
賛助会費	175,000
論文掲載料	800,000
広告掲載料	600,000
雑収入	300,000
計	13,828,269

全会一致で承認された。

支出

	予算
学会開催費	100,000
会誌発刊費	2,400,000
通信連絡費	400,000
事務費	120,000
備品費	100,000
名簿印刷費	120,000
予備費	200,000
繰越金	10,388,269
計	13,828,269

3. 監事の選出

中村 亮監事が選出され、高木知道監事の残任期間を担当することになった。

4. 名誉会員の推薦

桂 茂、桑山則彦両理事を名誉会員に推薦し、満場一致で承認された。

第16回四国歯学会例会 第12回四国歯学会総会 御案内

下記の要領で例会を開催いたしたくご案内申し上げます。

プログラム

日時 1993年7月17日(土) 13:00 - 16:45

会場 徳島大学歯学部大講義室(4階)

教授就任講演

司会 歯学部長 河田照茂 先生

13:00 - 14:00

「延・頸髄における運動神経細胞の配列」
——頸髄前角における疑核を中心として——

北村清一郎 教授 **および**

徳島大学歯学部口腔解剖学第一講座

14:00 - 15:00

「修復材料の寿命予測へのアプローチ」

浅岡憲三 教授

徳島大学歯学部歯科理工学講座

(10分間休憩)

15:10 - 15:40

四国歯学会総会

(5分間休憩)

一般演題

司会 松尾敬志 先生

15:45 - 16:45

1. 骨吸収におけるカテプシンLの関与

○田上佳保里, 上岡 寛, 石川啓詞, 住谷光治, 河田照茂
徳島大学歯学部歯科矯正学講座

2. リン酸カルシウムセメントの疑似体液中における挙動

○石川邦夫, 浅岡憲三
徳島大学歯学部歯科理工学講座

3. 病態解析へのRT-PCR法の応用

○浜野弘規, 羽地則雄, 林 良夫
徳島大学歯学部歯科口腔病理学講座

4. 歯周組織破壊の進行過程におけるT細胞・B細胞の動態

○多川知里, 松尾敬志, 中西 正, 白神俊之, 清水洋利, 恵比須繁之
徳島大学歯学部歯科保存学第一講座